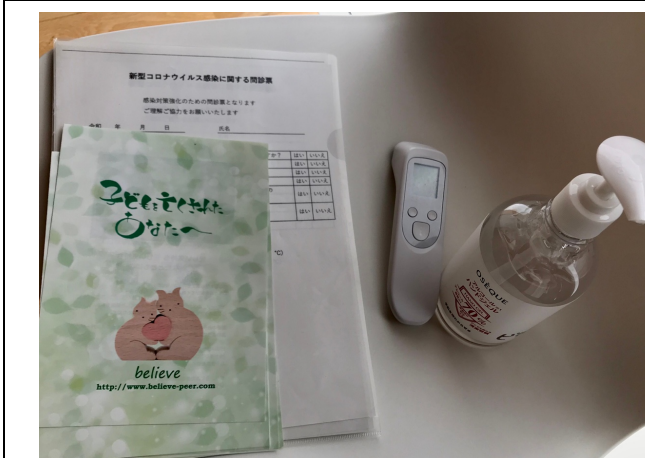


2021 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	『ビリーブメントケアチーム ビリーブ』
活動テーマ	『ビリーブのじかん ～ 最愛のお子さまを見送られたご両親と、同じ経験をもつビリーブのメンバーが美味しいお菓子と飲み物を楽しみながら友のように過ごす、カフェスタイルのつどい～』



毎月第一日曜日の午後、大阪市鶴見区にある TSURUMI こどもホスピスの広場連携ルームをお借りして、ビリーブメンバーと子どもを亡くしたご両親が自由に語り合う“カフェスタイルのつどいの場”が、『ビリーブのじかん』です。メンバーは、全員子どもを亡くした経験を持ち、こころのケアに関する一定の研修を受けた母たちです。最愛のお子様を見送られたご家族と、同じ経験をもつメンバーが、友のようにお話を伺います。陽射しが降り注ぐ落ち着いた環境の中、季節を感じる美味しいお菓子とお茶をご用意しています。子どもを亡くしたご両親は、悲嘆のあまりに自分を労わることに気持ちが向かなくなる方が多くいらっしゃいます。そのような方に少しでも心が癒されるひとときを過ごしていただくことが、ビリーブの願いです。ご対象は、「生計をひとつにする、独立していない、30歳位までのお子さまを亡くされた親御さん」とさせていただきます。

2021 年度も昨年度と同様、新型コロナウイルスが落ち着きを見せず、参加者の方にとって安全な開催とは何か？を深く考える1年となりました。コロナ状況が比較的落ち着いた時期には対面でのカフェ、緊急事態宣言やまん延防止重点措置が出た時期にはオンライン（Zoom）での面談・・・というように、状況に合わせて切り替えながら活動を展開しました。共通体験者同士だからこそ共感し合える温かな時間。子どもを亡くしたご両親が、悲しみの気持ちを抱えながらも生きる意欲をとり戻し、亡くなった子どもさんとの絆を大切にすることで明日へ歩を進めてゆけるようになる・・・。その一助に、この場所がなってくれていることを願います。